

反トランプ抗議者は寡頭体制の道具

【訳者注】この論文が出た翌日（12日）、「ジョージ・ソロスのオルグが反トランプ抗議を呼び掛ける集団の中にいる」という RT 記事が出て、P・C・ロバーツの予想した通りであることが判明した。<https://www.rt.com/usa/366579-soros-orgs-driving-trump-protests/>

ソロスは計票装置に細工した疑いをかけられており、他にも、ソロスに雇われて大型バスで各都市を煽って回る集団のことが報じられている。これは2014年のキエフのマイダン騒乱のときの、日当を貰って騒いだ偽ウクライナ人と、パターンが同じであると論者は指摘している。

ウクライナと言えば、ウクライナ問題、特にロシアとの関係を、日本政府はよく理解せず、アメリカの宣伝をそのまま信じているらしい。ロシアが力によってクリミアを奪ったなどと言っている。ここ（p.5）にも簡単に論じられているが、ロシアと話し合う気があるなら、もっと真実を調べておくべきである。何のために外務省があるのか？ このサイトだけでも何度となくそれに触れている。最近の例――

<http://www.dcsociety.org/2012/info2012/160714.pdf>

<http://www.dcsociety.org/2012/info2012/160718.pdf>

Paul Craig Roberts

November 11, 2016, Information Clearing House

「改革は常に、旧体制によって利益を得る者たちの側の怒りを引き起こす」――*Arthur M. Schlesinger, Jr., The Crisis of the Old Order*



改革派であるかのようなふりをし、大統領選挙の結果を受け入れることを拒否して、改革主義者の名を汚す、反トランプ抗議者とは何者か？ 彼らは自分が弾劾している“白人のクズ”に似ており、それよりもっとひどい行動をしている。

彼らがどういう者かは大体わかる。彼らは雇われたごろつきで、少数独裁者から日当を貰って、トランプの大統領資格を違法だとする者たちで、それはワシントンと

German Marshall Fund が、キエフで、クーデタに道をつけるために、民主的に選ばれたウクライナ政府に抗議するように、学生たちに日当を払ったやり方と同じである。

この組織、Change.org は、進歩派グループと自称しているが、おそらく他の進歩派グループとともに、少数独裁制のためのフロントで、この者たちは、ヒラリーに投票することによって選挙を無効にするために、選挙人団の選挙者を指図する請願書をばら撒いて、すべての真の進歩派の評判を傷つけようとしている。トランプが、もし投票が不正操作されたという証拠があれば、選挙結果を受け入れないかもしれないと言ったとき、いかに彼らがうろたえたかを思い出すがよい。今彼らは、トランプが、ある条件下ではやるかもしれないと言ったことをやって、トランプを呪っているのである。

西側売春メディアは、キエフ式の抗議を用いて、民主的に選ばれた政府の法的無効化を図り、クーデタを起こそうとしている。この抗議の日当がかなり良かったので、非ウクライナ人たちが近くの国からやってきて、カネを稼ぐために抗議に参加した。あの当時、私は抗議者に支払われた金額を記事として掲載した。東西ヨーロッパの人々から、報告が私のところに届いたが、この人たちはウクライナ人ではないのに、ウクライナ人のように抗議して、報酬をもらった人たちだった。

同じことが、トランプへの抗議でも起こっている。CNN によれば、「全国の多くのアメリカ人にとって、ドナルド・トランプの勝利は全く受け入れられない結果だった。何十万という人々が、少なくとも 25 の米都市で、夜通し道路を埋め尽くした。」これは少数独裁制が売春メディアに求め、注文通りに書かれた報道である。

25 の都市で同時に起こった抗議集会が、自発的なものだったと考える人はいないと私は思う。どうして 25 の独立した抗議集会が、同じスローガンと同じ看板を掲げて、選挙のあとの同じ夜に実現できるだろうか？

この抗議のポイントは何か？ これによってどんな利益が得られるのだろうか？ローマ人が常に問うたように、「誰の利益になるのか」(Cui bono?)

答えは一つしかない。少数独裁制であり、少数独裁制のみの利益である。

トランプは少数独裁制にとって脅威だが、そのわけは、彼がアメリカ人の仕事を外国人にくれてやることを止めようとしているからである。仕事をくれてやることを、ネオリベラル・ジャンク経済学者は“自由トレード”と言っているが、これこそ 21 世紀のアメリカの収入分配が悪化した主たる理由の一つである。以前は、中間層の賃金やサラリーとして、アメリ

カの製造業雇用者や、大学卒業者に支払われていたカネが、“1パーセント”のポケットに入るように回路が変更されている。

アメリカの企業が、アメリカ人に売られていた、製品の生産やサービスを、オフショア取引として、中国やインドのようなアジア諸国に移行するとき、彼らの賃金は下がる。以前は中間層の収入として支払われていたカネが、こうなると重役のボーナスや配当金になり、株主の資本利得になる。アメリカを機会の国にしていた上昇の梯子は、ひと握りの人々を億万長者にするために、はずされてしまった。

トランプが少数独裁制にとって脅威であるのは、彼がロシアとの平和な関係を築こうとしているからである。ソ連の脅威という儲かるものがなくなったので、少数独裁体制と彼らのネオコン要員たちは、ロシアを悪魔化することによって、“ロシアの脅威”を再創造しようとしてきた。

儲かる冷戦からの、何十年もの過剰な利益に慣れ親しんでいたのだから、レーガン大統領が冷戦を終わらせたとき、軍/安全保障複合企業は腹を立てた。アメリカ人民の税金から搾り取ったものによって、冷戦を再び始めようとしていた矢先に、ミハイル・ゴルバチョフ・ソ連大統領に対する右翼のクーデタが起こり、ソビエト連邦は崩壊した。

軍/安全保障複合企業と彼らのシオニスト・ネオコン要員は、“テロへの戦い”をでっちあげて、カネが“1パーセント”に流れ続けるようにした。しかし、売春メディアがどんなに懸命に“イスラムの脅威”の恐怖を作り上げようとしても、のんきなアメリカ人でさえ、イスラムたちが、数分でアメリカ全土を破壊するような、強力な熱核兵器を積んだ ICBM を何千ももっているとは考えなかった。同様にイスラムたちも、1～2日でヨーロッパのすべてを踏みつぶせるような赤軍を、もってはいなかった。実際、イスラムは今でも軍隊を必要としていない。ワシントンの戦争からの逃亡者たちが、ヨーロッパ人に援助されて、ヨーロッパを踏み荒らしている。

年に1兆ドルの、軍/安全保障予算の口実は見当たらなかった。そこで少数独裁者たちは、ロシアに“新しいヒトラー”を創り出した。ヒラリーは、新しい冷戦をヒートアップする第一の要員だった。

ヒラリーは、少数独裁制によって豊かにされた道具であって、その大統領としての仕事は、軍/安全保障複合企業の兆ドル予算を保護し、増加させることだった。ヒラリーがホワイトハウスに収まれば、“1パーセント”の富のためのアメリカ納税者からの略奪は、無人の野を行くが如きものだったろう。しかし、もしトランプが“ロシアの脅威”を解決すれば、少

少数独裁制の収入は打撃を受ける。

ヒラリーの大統領としての仕事は、また、社会保障を私有化して、彼女のウォール街の後援者たちが、アメリカ人が「オバマケア」の下で、保険会社にはぎ取られているように、アメリカ人をはぎ取ることができるようにすることだった。

よく注意を払わないアメリカ人は、FBIが、ヒラリーが自分のEメールを使うことによる国家安全規定への違反はないと判断したと、間違っ**て**考えている。FBIは、ヒラリーは国家安全法に確かに違反したが、それは不注意または無知によるものだと言ったのである。彼女が起訴を免れたのは、彼女は国家安全規定を意図的に破ったのではないと、FBIが結論したからである。クリントン財団の調査は継続する。

換言すれば、ヒラリーを保護するために、FBIは、「意図なしに犯罪はありえない」という古来のコモンロー・ルールを抛り所にしたのである（PCR and Lawrence Stratton, *The Tyranny of Good Intentions* を見よ）。

人は、もし抗議者がまともな者たちならば、トランプの勝利を祝福するはずだと思うだろう。彼はヒラリーとは違って、強力なロシアとの、そして願わくは中国との、緊張を取り除くと約束している。ヒラリーとは違ってトランプは、25の都市の通りで、ほかならぬ彼に対して抗議をする者たちの、常識のなさを心配している。

換言すれば、アメリカ国民がトランプを大統領に選んだと言って抗議するというのは、無意味である。この抗議は、ただ一つの理由から起こっている。少数独裁者たちが、トランプ大統領の違法化を狙っているのである。ひとたびトランプ大統領が違法化されるならば、少数独裁者は、彼をより暗殺しやすくなるだろう。少数独裁者が、トランプの政府を指名し、コントロールできないならば、トランプが暗殺の第一候補になる。

トランプへの抗議は、もう一つ別の理由で理不尽である。ヒラリーやオバマや、ジョージ・W・ブッシュと違って、ドナルド・トランプは、7つの国の何百万もの人々を、虐殺したり住処を奪ったりしておらず、少数独裁者の戦争から何百万という亡命者を作り出し、ヨーロッパを荒させたりしていない。

トランプは彼の財産を稼いだ——それは仮に、好ましくない手段によるものだったとしても、ビルやヒラリーのように、アメリカ政府の影響力を、外国の要員に売ることによってではなかった。

では、抗議者は何に抗議をしているのだろうか？ 彼らは抗議するように雇われている。それ以外に答えはない。キエフのマイダンの抗議者が、アメリカや、ドイツに財政支援された NGO によって、抗議するように雇われていたように。

キエフの抗議も同じように無意味だった。それは、大統領選挙がほんの数か月先に予定されていたからである。もしウクライナ人が本当に、彼ら的大統領がロシアと共謀して、ウクライナが西側の傀儡国家にはならないように、そしてどんなに犠牲を払っても、ロシアの傀儡になろうとしているのだと信じていたのなら、政府を投票で決める機会は、すぐ先まで来ていた。抗議の唯一の理由は、クーデタを指揮するためだった。アメリカは、新しいウクライナ政府をコントロールする彼らの手下を、うまく選び出した。これはビクトリア・ヌーランド (Victoria Nuland) と、キエフの米大使の (盗聴された) 電話の会話で確認できることで、インターネットで聞くことができる (注、大使の名は Geoffrey Pyatt)。

マイダンの抗議は、クーデタを可能にするため以外に意味がなかった。この抗議は疑いもなく、国務次官のビクトリア・ヌーランドを通じて、ワシントンによって仕組まれたもので、このネオコンの女は、ロシアと事を構えるのが目的で、ヒラリー・クリントンによって国務省に引き込まれた人物だった。

トランプを抗議の対象にさせるのは、彼がそう思われている通り、少数独裁制にとって脅威となったときに、傷つけやすい存在にしておくためである。

トランプは大統領を勝ち取ったが、少数独裁制はまだ権力を握っていて、本当の改革を達成するのは難しい。象徴的な改革が、トランプ大統領と少数独裁制の間の抗争の産物でありうる。

カール・マルクスが歴史的経験から学んだこと、そしてレーニンやスターリン、ポル・ポトがマルクスから学んだことは、退けられた支配階級が、彼らに対する革命の後も傷つかずのまま残るならば、変化は起こらないということである。我々は広く南米を通じて、このことの証拠を得ている。土着の人々による革命はことごとく、スペイン人の支配階級を無傷のまま残し、あらゆる革命は、支配階級とワシントンの間の共謀によって覆された。

ワシントンは多くの場合に、伝統的なエリートと共謀して、ホンジュラスの選挙による大統領を追い出した。最近では、ワシントンはエリートを助けて、アルゼンチンとブラジルの女性大統領を排除した。ベネズエラ、エクアドル、それにボリビアの大統領たちは、現在、狙われており、生き残れそうもない。ワシントンは、ジュリアン・アサンジを捕える決意をしている。これを達成するために、彼らは、ワシントンに抗してアサンジに政治的避難所を与

えているエクアドル政府を、転覆させようとしている。

ウゴ・チャベスは、支配階級が彼に対する CIA のクーデタに参加したとき、ベネズエラのスペイン人支配階級を追放または根絶する力をもっていた。しかし CIA がチャベスを殺す前に、民衆と軍隊が彼を釈放させた。彼を殺そうとした犯人たちを罰する代わりに、チャベスは彼らを逃してやった。

マルクス、レーニン、スターリンによれば、これは革命家の古典的な間違いである。善に依存することは、倒される支配階級からみれば、革命の敗北への確実な道になる。

ラテンアメリカは、この「革命に和解はありえない」という教訓を学ぶことができなかった。

トランプは取引する人である。少数独裁者たちは、本当の変化でないものと引き換えに、成功の見せかけを、彼に対して認めるかもしれない。

トランプは完全ではない。彼は自分で失敗するかもしれない。しかし我々は、彼の計画の 2 つの最も重要な要素について、彼を支援する必要がある——大きな核保有国間の緊張緩和、それに、グローバリズムによって、アメリカ人の経済の将来を破壊しようとするワシントンの政策を、阻止することである。

もし核大国の間の緊張が悪化するなら、我々は他の問題について心配する必要もなくなる。グローバリズムによって空洞化された経済と移民の組み合わせは、経済の悪夢である。トランプがこれを理解していることが、彼を支持する理由である。

付記：トランプは、少数独裁者が動かしている、一つの企みだと考える人たちがいる。しかし、ヒラリーが、買って支払われる少数独裁者の代表者である以上、そのような手の込んだ企みは必要がない。少数独裁者にとっては、相手の舞台で大統領を作り、その上で彼を取り込むよりは、自分の舞台で勝利する方が、望ましいであろう。もう一つの裏切りは民衆の怒りを増加させる。もしヒラリーが勝っていたら、少数独裁者は、彼らの舞台について、投票者の指図を受けることになったであろう。